

先進研究

行く聴く考える

指定管理者制度

総務経済常任委員会

指定管理者制度の課題は

視察先：日高市・毛呂山町（1月13日）



事業者変更で、最新の機器が導入されたトレーニングルーム（日高市文化体育館）

日高市のスポーツ施設等の指定管理は、日高市文化体育館、日高総合公園、学校体育館の夜間開放の3施設が対象（平成27年から導入）。現在第3期目で指定管理者が株式会社アシックスに変更。前指定管理者との引き継ぎについては情報共有の点で苦労があった。毛呂山町は町立図書館（平成22年）、ゆずの里オートキャンプ場（平成18年）で指定管理を導入。オートキャンプ場は施設の老朽化が進み、維持管理費や大規模改修費用の捻出が課題となっている。

指定管理者との連携 密に

指定管理者との円滑な連携が課題と認識。行政と指定管理者は、利用者サービスの維持向上のため、適切な役割分担の下で密に連携しながら施設運営を行うべき。

視察後考

文教厚生常任委員会

社会参加でつながる介護予防

視察先：厚木市・稲城市（1月14日）

介護保険事業

厚木市の介護予防普及啓発事業は、3か月1コースの教室で高齢者の意識改革を促進。参加者の9割超に運動習慣が定着して、行動変容に大きな成果を上げている。稲城市が創設した「介護支援ボランティア制度」は、高齢者が施設等で活動し、その実績に応じてスタンプを集め、それを年間5000円の交付金に換金できる制度。社会参加を促し、生きがい創出と実質的な介護保険料負担軽減を両立する効果がある。



高齢者施設での食事配膳等のボランティア（稲城市）（写真は同市 福祉部高齢福祉課資料より）

視察後考

両市とも高齢者の意思を尊重し、制度を目的化せず当事者の声を反映した制度にするリード役を果たしている。地域課題解決と自他互助を目指す姿勢を、当町でも生かしていきたい。

高齢者に届け 地域福祉

「町民が知りたいこと」を調査研究のテーマに。先進地に行き、意見を聴き、町に反映できるものは何か。視察後考に注目してほしい。

公開します 3月定例会 全議案の審議結果・議員の賛否

平成20年以降の議決結果 (議会HP)

Table with columns for agenda items (e.g., 上程議案・概要・結果, 専決処分, 令和8年度寄居町歳入歳出予算) and rows for council members (e.g., 吉田正美, 原口孝, 稲山良文). Includes a QR code and a note about the council president's abstention.

一：議事進行を行う議長は賛否同数の場合のみ「議長採決」として賛否表明

※：議長は除斥のため、保泉副議長が採決